

国立国会図書館は、東日本大震災の記録・教訓を伝える取組みを続けています

東日本大震災発災から1,000日が経ちました。国立国会図書館は東日本大震災アーカイブの構築を通じ、これからも、東日本大震災の記録等を収集し保存するとともに、利活用を広げる活動に取り組めます。

「ひなぎく」でNHK東日本大震災音声アーカイブも検索できるようになりました

東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」は、関係する官民の機関との分担・連携・協力によって、随時、統合検索の拡大や新しい記録等を追加しています。詳細は、別紙①「最近追加した主なアーカイブ・コンテンツ」をご覧ください。

発災1,000日目となる12月4日には、NHK東日本大震災音声アーカイブと連携し、NHKラジオセンターが提供する被災した人々の証言へもアクセスできるようになりました。現在「ひなぎく」で検索できる資料は計247万点です。

震災記録の活用について考えるシンポジウムを開催します

国内外の震災記録のアーカイブ機関による事例報告や、復興事業関係者を交えたパネルディスカッションを通じて、復興事業における東日本大震災に関する記録・教訓の活用や、アーカイブ活動と復興事業との協力関係の在り方について検討するシンポジウムを平成26年1月11日に東北大学で開催します。

また、1月9日には、震災関係アーカイブの運営者による報告、関係機関との意見交換を行う「震災アーカイブに関する研究会」を国立国会図書館で開催します。詳細は、別紙②「シンポジウム・研究会について」をご覧ください。

東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」とは…

東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ伝えることを目的としたポータルサイトです。被災地の復旧・復興事業や、今後の防災・減災対策に役立てられるよう、公的機関、民間団体、報道機関等による記録・報告書や大学、学会、研究機関による学術研究の成果などを包括的に検索できます。



<http://kn.ndl.go.jp/>

別紙①最近追加した主なアーカイブ・コンテンツ

3.11 震災文庫（仙台市民図書館）

東日本大震災の記憶や記録を後世に伝えるとともに、震災からの復興や生活再建を支援するため、震災に関する書籍や新聞、行政資料、さらに震災発生当時から現在までのさまざまな資料を収集。

NHK 東日本大震災音声アーカイブス

NHK ラジオセンターが運営する音声アーカイブ。被災した人々の「声」、被災地の「音」を記録する証言記録集。

NWEC 災害復興支援女性アーカイブ（国立女性教育会館）

女性関連施設等による復興支援を通じた地域コミュニティ再生実践の記録を収集・保存するアーカイブ。国立女性教育会館が開発したシステムに各地の女性関連施設（現在は青森県男女共同参画センターなど3施設・団体）がデータ登録している。ワークショップ、講演、講座の記録などを収録。

赤十字原子力災害情報センター デジタルアーカイブ（日本赤十字社）

今後の原子力災害の発生に備えて、予防から救護・救援、復旧・復興に至るまでのボランティアを含めた幅広い赤十字活動のガイドラインを策定するために収集した、原子力災害に関する各種情報・データを発信するアーカイブ。東京電力福島第一原子力発電所事故後の日本赤十字社の救護活動の記録や、福島赤十字病院の医師、看護師、他県から派遣された救護班員、支部職員らのインタビューなどを収録。



（一時帰宅住民支援における日本赤十字社の救護所）

東日本大震災の記録 Remembering 3.11（学校法人東北学院）

東日本大震災の被害状況とその復旧に関わる資料を集約し保存することにより将来的な活用に資することを目的としたアーカイブ。震災直後に作成・配布された手書きメモ等や、復旧作業記録・震災に関わる各種活動記録等を収録。



（旧北上川河口）

被災地斜め航空写真（朝日航洋株式会社）

東日本大震災発災の翌日である平成23年3月12日に福島県いわき市から宮城県石巻市の沿岸部（一部地域を除く）を朝日航洋株式会社が撮影した航空写真（斜め写真）。

※ひなぎくで検索できる主なデータ提供元は、ひなぎくの「検索対象データベース一覧」（<http://kn.ndl.go.jp/static/db>）からご確認いただけます。

別紙②シンポジウム・研究会について

東日本大震災アーカイブ国際シンポジウムー未来をつくる地域の記憶ー

国内外の震災記録のアーカイブ機関による事例報告や、防災・教育関係者等を交えたパネルディスカッションを通じて、復興事業における東日本大震災に関する記録・教訓の活用や、アーカイブ活動と復興事業との協力関係の在り方について検討するシンポジウムです。

○日時及び会場

日時：平成26年1月11日（土） 13時00分から17時30分まで

会場：東北大学青葉山キャンパス（仙台市青葉区荒巻字青葉6-6）

工学部・工学研究科センタースクエア中央棟2階大講義室

○主催

国立国会図書館、東北大学災害科学国際研究所

○詳細・申込み

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp/symposium/sympo20140111>

（東北大学災害科学国際研究所みちのく震録伝）

○問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門災害アーカイブ研究分野

（担当：小野，柴山，佐藤）

電話番号：022(795)4842 E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

震災アーカイブに関する研究会**ーNZ カンタベリー地震と東日本大震災の経験からー**

上記シンポジウムに関連して震災関係アーカイブの運営者による報告、関係機関との意見交換を行います。

○日時及び会場

日時：平成26年1月9日（木） 14時00分から16時00分まで

会場：国立国会図書館 東京本館 新館 大会議室（千代田区永田町1-10-1）

国立国会図書館 関西館 1階 第一研修室（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）

※東京本館の様子を関西館にテレビ中継

○主催

国立国会図書館

○詳細

<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/archive-workshop2014.html>

○申込み・問い合わせ先

国立国会図書館 電子情報部 電子情報流通課 東日本大震災アーカイブ担当

電話：03-3581-2331（代表） FAX：03-3581-0768

E-mail アドレス：hinagiku@ndl.go.jp